

# 市野新田ダムだより 23号



株式会社フジタ 東京支店  
市野新田ダム作業所  
電話 0257-29-2861

平成28年 4月 春号

## 現場の様子

上流側から河床部を望む（基礎処理工事、盛立工事が進められています）



### 市野新田ダムの進捗について

今シーズンは雪が少なく、早い時期から工事が始められるられそうでしたが3月1日に降雪がありました。雪が解けていた箇所が、また白くなってしまい昨年同様、3月に大雪があるのではないかと心配しましたが、気温の上昇とともにどんどん雪も溶け、3月中旬から本格的に工事が動き出し現場に活気が出てきました。

現在は、セメントミルクを地盤に注入する基礎処理工、各所地盤の調査工、ダム本体下流側の盛立工を進めています。

基礎処理工が完了した箇所から掘削作業に移り、今年度からスタートするダム本体遮水部分の盛立てに向けた準備を行います。現状では、盛立材料運搬車両の走行は少ないですが、夏頃より生コン車を含めた大型車両の走行が多くなります。これまで通り安全運行に努めてまいります。ご迷惑をお掛けしますが、工事へのご理解を宜しくお願い致します。

## 地区行事

3月12日 綾子舞 扇ひらき



4月10日 空き缶拾い 神社清掃に参加



## 新職員紹介



クラマシ タカシ  
倉増 敬(30歳 山口県出身)  
愛知県で高速道路の構築に携わってきました。  
ダム工事、雪国での仕事・暮らしも初めてですが  
精一杯がんばりたいと思います。  
よろしくお願ひします。



ツネナガ マコト  
常永 真(27歳 兵庫県出身)  
平成28年4月より市野新田ダムの一員となりました。  
ダム工事は、大分県で少し経験しています。その経験  
を生かし工事に貢献できるようがんばりますので  
よろしくお願ひします。



マツキ タカミチ  
松木 貴道(40歳 新潟県妙高市出身)  
平成28年3月より着任致しました。  
ダム工事ははじめてですが、今までの経験を  
生かし精一杯努力します。

鶴川地区の皆様、こんにちは。小雪の冬が終わり、例年より早く田んぼが見えてきました。土手にふきのとうを見つければこれからは恵みの春、山菜の時期が始まるなど嬉しくなります。ふきのとうやせり等春の山菜は苦味のあるものが多いですね。子供の頃は苦味が苦手だったのに歳をとってからは苦味を美味しいと思うようになりました。この山菜の苦味には老化防止、新陳代謝を活発にする、消化を促す、等の成分が含まれているとか、まさに大人が食べるべき食材なのですね。

職員も増え、現場もますます活気付いてきました。安全第一で今年度も頑張りますのでどうぞ宜しく御願ひ致します。

